

# ひょうご障害者スポーツ指導者協議会 レガッタ講習会報告書

報告者 小寺 正健(東播磨地区)

地域 ひょうご障害者スポーツ指導者協議会 東播磨地区

実施日 平成24年10月27日(土) 13:30~15:30

場所 加古川漕艇センター (車いす用トイレ有り)

参加者 12名(障害者4名、健常者8名)

## レガッタについて

レガッタはボート競技会のことを言います。レガッタ講習会は、4人漕ぎの『ナックル艇』を使用し、漕ぎ手4人+コックスと呼ばれる舵取り1人の5人で行います。この種目名を競技会では『ナックルフォア』といいます。ボートのシートにはレールが着いており、漕ぎ動作に合わせてシートが前後する仕組みになっています。両足はベルトでしっかりと固定します。漕ぎ手の持つオールは1本ずつで、4人が左右交互にオールを持ちます。コックスは艇尾に座り、「キャッチ！」(オールを水に入れる動作)というかけ声をかけながらロープで舵取りを行います。

- 流れ
- (1)陸上で漕艇センターの職員からレクチャーを受ける。
  - (2)全員でボートを川まで移動
  - (3)4人ずつ乗船し、実施体験
  - (4)終了後はボートを川から引き上げ、オールと共に水洗いをする。

まとめ 年2回行っているレガッタ講習会は、今年度は第1回目が悪天候で中止となり、今回が今年度第1回目の開催となった。参加した障害者4名の内2名は車いす使用者、2名は肢体不自由者であった。ボートが揺れやすい乗船、下船の際には漕艇センター職員の方達中心に数人でサポートを行った。体験中、足の踏ん張りがきかず座面から臀部が落ちるといったハプニングもあったが、無事全員が体験することができた。参加者の感想は、予想以上にスピードがあって楽しかった、風が気持ち良かった等で、おおむね好評であった。

東播磨地区では、来年度障害者レガッタチームを編成し、市民大会レベルでの大会参加を目標に、普及の中に競技性を加えた活動を計画している。

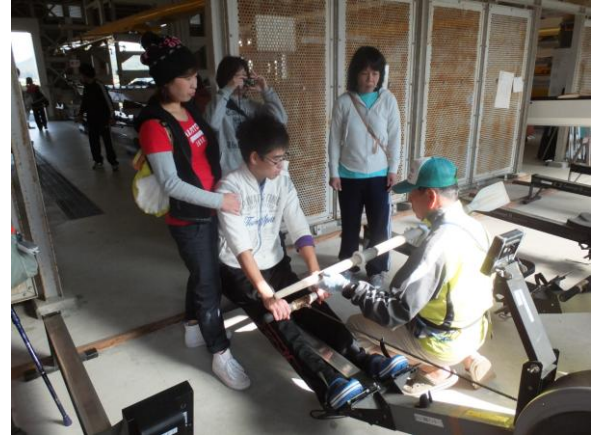
心地よい風とスピード感、また、全員でボートを動かす一体感というレガッタの醍醐味を、これからもたくさんの方に楽しんで頂きたい。



倉庫内



職員さんによるレクチャー



ボートへの乗り込み



出発



全員で呼吸を合わせます



だいぶ遠くまで行きました



岸ぎりぎりまで車いすを持って行きます



次のグループ出発

